

進捗報告書 (株式会社 MIRISE)

Version 1.0

2021年10月4日

事業名:	ALBUM ～たった一人を大切に～
資金分配団体:	公益財団法人信託資本財団
実行団体名:	株式会社 MIRISE
実施時期:	2021年5月～2022年6月
事業対象地域:	京都府
事業対象者:	障害者、ひとり親家庭、ニート、フリーター、個人事業主、中小企業

I. 事業概要

事業概要
障害や難病のある人、ひとり親世帯の人、子育て中の人などの就労困難な状態にいる人に対する「雇用創出」を行う。具体的には、ECサイトの開発及び運用、ECサイトサポートデスク設置対応、デザインや動画作成等の事業を行う。ECサイト（ネットショップ）は立地や商圏に左右されず県外や海外消費の獲得も可能であり、住み慣れた地域で事業を続ける手段としても有効である。また、Web開発や更新作業、デザイン、商品仕入、商品撮影、画像加工、検品、ピッキング、梱包、データ入力、SNSなど、数多くの仕事が作れるため、障害や難病のある人など、働きづらさを抱える人でも、その特性や得意分野を活かすことが可能であると考えられる。

II. 進捗報告の概要

総括
購入商品（PC 備品等）の納品時期が遅れたことや販売商品の内容を変更したことなどにより、一部の事業（ECサイト事業開始）の日程に遅れを伴っているが、全体としては想定通りの活動を行えている。
ECサイトの仕入商品の分野選別で、万年筆等の筆記用具を中心とした商品の販売を予定していたが、関係者の助言を踏まえ、社内で再検討し、ボードゲームを商材としていく方向性で決定した。今後は仕入れ商品の詳細を現場の声を反映して検討しながら実施をしていく予定。

III. 活動実績

アウトプット（今回の事業実施で達成される状態）	進捗状況
・約20名の雇用創出を行なう。 ・生活状況や経済状況の改善。	・雇用者数7名（2021年10月現在） ※5月～9月での見学者数73名、面接者数16名 ・雇用3ヶ月後の面談では、雇用継続の確認の他に、生活リズムの安定や入職後から自己肯定感について聞いている。

<ul style="list-style-type: none"> ・生活困窮状態からの脱却。 ・自己肯定感や就労意欲が高まる。 	<p>不安定な日中リズムから、月曜日から金曜日の決まった時間で働く就労リズムとなり精神的に落ち着いてきたとの感想も出された。また、障害者に対する配慮がなく今までの仕事場での辛い経験から長続きしなかった方が、環境が変われば障害があっても自信を持って継続して働けるという就労意欲の高さを聞くことが出来た。</p>
---	--

活動	進捗状況	概要
<ul style="list-style-type: none"> ・事務用品や消耗品等の物品購入 ・求人作成及び求人募集開始 ・求人営業・採用活動（ハローワークや特別支援学校等への訪問） ・ホームページやネットショップサイト企画・作成 ・商品仕入れ（メーカー、卸事業者、ギフトショー等のイベント参加） ・商品撮影、画像加工、在庫管理、受注作業、商品梱包、出荷作業等 ・企業訪問等による販路開拓営業活動（㈱ウエダ本社や郵便局と連携、イベント企画開催等） ・職員に業務状況や体調等のヒアリング面談 ・職員へのアンケート調査及び面談、事業報告書作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・納品に遅延あった。 ・ほぼ計画通り ・ほぼ計画通り ・作成案検討中 ・調査中 ・ほぼ計画通り ・ほぼ計画通り 	<ul style="list-style-type: none"> ・ネットショップの企画段階で、仕入商品の分野選別に時間がかかったが、現在は、仕入メーカーの調整や仕入れ商品の選別など、順調に行えている。今後商品が仕入次第、順次撮影や受注作業等を行う予定。 ・企業訪問以外でも、見学に来られる経営者等が多く、その際に新たな企画や仕事の開拓となっている。見学者数：89名（5月～9月） ・定期的（3ヶ月を始めとして、半年、1年後を予定）の他、職員の希望や体調確認などで随時、面談を行っている。

IV. 事業実施後（1年以降）に目標とする状態への所感（中間時点）

自由記述
<ul style="list-style-type: none"> ・就労困難者の雇用創出 20 名という数値自体は、事業所に来る平均的な見学者数や来所数から見れば、達成すること自体は可能であると考えるが、この点は、焦らず、無理して 20 名を雇用するのではなく、双方が幸せになれる採用を心がけていきたい。 ・今秋以降、ネットショップを立ち上げ、商品販売もしていく予定である。それに伴い、業務を細分化して、受注、商品撮影、加工、梱包、発送、SNS など、様々な業務を作っていくことにより、そこで働く社員が自身の特性と合致する仕事を行ない、継続することで、働くことの「やりがい」や「自信」をつけて、会社や社会に「自分は役立っている」「自分の存在は価値がある」という実感を得てもらえるようにしていきたい。

V. インプット

		2020 年度	2021 年度	合計	執行金額	執行率
事業費	直接事業費	¥0	¥14,502,000	¥14,502,000	¥7,441,161	51%
	管理的経費	¥0	¥2,498,000	¥2,498,000	¥759,613	30%
合計		¥0	¥17,000,000	¥17,000,000	¥8,200,774	48%
補足説明		特になし				

VI. 事業上の課題

事業実施上顕在化したリスク/阻害要因とその対応

・ネットショップやWEBサイト構築に際して、その業務を担当予定だった職員が、バイク事故により、鎖骨や足首等の骨折があり、現在、全治約2ヶ月の入院をしている状態である。

⇒案件の一部を外注することも検討・視野に入れながらも、HTMLやCSS等のプログラミング言語が理解できる人材の新規採用や会社内での人員移動・調整をすることにより、案件に対応出来るようにしている。

VII. その他

自由記述

VIII. 広報実績

広報内容	有無	内容
メディア掲載 (TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB等)	無	
広報制作物等	無	
報告書等		

IX. ガバナンス・コンプライアンス実績

ガバナンス・コンプライアンス体制	状況	内容
1. 社員総会、理事会、評議会は定款の定める通りに開催されていますか。		
2. 内部通報制度は整備されていますか。		